

長野県諏訪清陵高等学校SSH事業 既実施事業と新規事業との関係

平成 22 年度～27 年度

平成 29 年度～33 年度

既事業の研究開発課題名

中高一貫教育における「学び方の学び」
や融合型授業の開発（平成 26 年度変更）

新規の研究開発課題名

学習の場「清陵ネット」で展開する探究力
あふれる人材の育成

「SSH情報」

1 年次（1 単位）： “学び方の学び” の
学習。情報の検索、収集の基礎学習、先端
技術産業研修の実施と、そこに課題を見出
して課題探究する、成果を発表するなどの
科学的な探究活動

2 年次（1 単位）： 調べ学習の一人一研究
平成 27 年度より「SSH探究」

1 年次（2 単位） 2 年次（1 単位）合計 3 単
位とする。

「問題発見」へ改組

1, 2 年次「問題発見」(2 単位): 学習の仕方, 「清陵
ネット」の使い方, 数学の論理と科学研究の進め
方, 情報の表現の技法, コミュニケーションの方
法, 生徒によるデジタル教材の作成等。

正しく考える方法や科学の歴史および学習の技
術と情報を表現したり議論の技法を学んだりしな
がら, 普段の学習において思いつくカジュアルな
疑問を顕在化し共有して解決する能力を育成す
る。さらに簡単に解決しない問題に対して研究段
階へ進める課題設定を行う。

課題探究の取組

「スーパーサイエンス」で課題探究実施
探究の成果を一般公開の場で発表
課題発見・課題解決の指導法の研究を開始
「理数課題研究」設置

コンテストへの応募・学会等での発表
「SSH探究」主体的・協働的な探究
アメリカ合衆国アラスカ州アラスカ大学
フェアバンクス校等での研修
大学・研究所での講義, 実習, 探究発表,
極地課題研究オーロラの観測

「課題研究」(卓越性の保証)

生徒が課題設定し徹底的に研究したいテーマにつ
いて, 放課後に「課題研究」として取り組む。個人
研究やグループ研究等, 主体的・協働的に探究す
る時間と環境を整備, 教職員による支援体制を整
え卓越した研究活動を保証する。コンテストへの
応募・学会等での発表をすすめる。

融合科目の開発

教科横断型「SSH情報」「科学英語入門」
数理協力型「理数課題研究」の研究開発

「数学実験室」「理科実験室」

生徒主体のシミュレーション, プログラミング,
検証実験等の環境の整備

中高一貫教育校スタート

長野県諏訪清陵高等学校附属中学校
開校(平成 26 年度)

中高一貫教育校として 6 年間を見通した 理数に重点を置いた教育課程の研究開発

将来の科学英語への活用力を養成する「Eタイ
ム」「イングリッシュ・キャンプ」, 課題解決学習を
実践して高等学校の課題探究に結び付ける「アカ
デミック・コミュニケーション」(自然観察, 大学
医学部・農学部訪問等)

地域貢献事業

わくわくサイエンス講座・理科教室(諏訪
市児童センター, 諏訪市博物館, 工学院大
学との連携)・授業公開, テキスト公開,
学校全体の教職員の協力で先端技術産業
等研修, 諏訪圏工業メッセ見学(平成 25 年
より)

社会との共創 ものづくり集積地 諏訪の風土

わくわくサイエンス講座・理科教室(諏訪市児童セ
ンター, 諏訪市博物館, 工学院大学との連携), 授
業公開, 本校独自企画として, 「自由研究アドバイ
ス」, 「遺伝子操作体験講座」, 「三澤先生記念文庫
講座」, 「諏訪力講座」等